

基本理念：女(ひと)と男(ひと)がともにいきいき輝くまち

重点目標	1	あらゆる分野における女性の活躍推進	担当課 総務課
施策の基本方向	1	政策・方針決定の場への女性の参画拡大	
具体的施策	1	各種審議会等委員への女性の登用拡大	
取組内容	政策・方針決定の場への女性の参画を拡大するため、各種審議会等において、委員改選時の積極的な女性登用、女性の登用状況の調査・公表、女性人材の発掘・育成に全庁的に取り組む。		

R3年度取組内容	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・重要事項決定の場に参画できる女性の人材を発掘する。 ・女性人材バンクや女性ネットワーク荒尾について庁内での周知を図り、各課(室)の審議会等委員改選時の活用を推進する。 ・審議会等の女性登用率を調査し、結果を公表する。 ・各課(室)の審議会等の委員は団体の長でなくても良い委員会もあるので、各課(室)から団体へ委員就任の依頼をする場合は考慮するように周知を図る。 ・女性の意見集約の場として市役所内で「女性職員シンクタンク会議」を行う。
	目標	<ul style="list-style-type: none"> ・「荒尾市審議会等への女性の登用推進に関する規程」の周知を徹底する。委嘱状等の業務を行う担当者とも連携し、事前協議を行っているのか確認する。 ・職員向けグループウェアに女性登用率調査結果を掲示し、女性登用率の見える化を行う。合わせて女性ネットワーク、女性人材バンクの周知を図る。 ・市内で様々な形で活躍する女性を募集し、男女共同参画フォーラムの中で紹介するブースを作る。審議会等に推薦する人材の発掘へとつなげる。 ・「女性職員シンクタンク会議」を通して、市の行う事業等に女性の視点での意見を提案し、合わせて女性職員の対話の場、学びの場を作り、育成を図る。

成果指標	指標名	単位	現状(H27)	実績値(H28)	実績値(H29)	実績値(H30)	実績値(R1)	実績値(R2)	実績値(R3)	目標値(R3)
		市の審議会等の女性登用率	%	26.1 (H28.3.31)	24.6	23.6	24.0	23.5	26.9	29.5

R3年度取組実績	実績(成果と分析)	<ul style="list-style-type: none"> ・委嘱状等を作成する担当である人事厚生係が、起案の統一化、チェックシートの作成を実施し、全庁的な「荒尾市審議会等への女性の登用推進に関する規程」の徹底をはかった。 ・女性職員シンクタンク会議は、意見照会2件、プロポーザル選定委員等、各種庁内委員への就任依頼が11件あった。 ・女性委員等登用率を庁内(グループウェア)、庁外(HP)へ発信し、見える化を行った。
	今後の課題	「荒尾市審議会等への女性の登用推進に関する規程」に策定したことで、全庁体制で女性委員の登用を進めている状況になっている。登用率も着実に伸びており、今後もこの状況を継続していきつつ、女性委員となる市民の育成が重要課題となっている。
評価	B	評価の理由 目標は達成できていないものの、登用率は着実に上昇したため。

【評価の視点】 ・男女共同参画の視点が施策に反映されているか ・男女共同参画の視点から施策の改善すべき点はないか
A：目標を達成することができた
B：目標達成には及ばなかったが、目標に沿った成果がみられた
C：目標達成に及ばず、目標に沿った成果もみられなかった
D：事業実施の実績なし

前年度(R2年度)からの課題	「荒尾市審議会等への女性の登用推進に関する規程」を制定したことに合わせ、今後女性委員となっていた市民の育成に力を入れていく必要がある。
----------------	---

男女共同参画推進会議の意見(男女共同参画推進室記入)	
男女共同参画審議会の意見(男女共同参画推進室記入)	

基本理念：女(ひと)と男(ひと)がともにいきいき輝くまち

重点目標	1	あらゆる分野における女性の活躍推進	担当課 関係各課(企業局)
施策の基本方向	1	政策・方針決定の場への女性の参画拡大	
具体的施策	1	各種審議会等委員への女性の登用拡大	
取組内容	政策・方針決定の場への女性の参画を拡大するため、各種審議会等において、委員改選時の積極的な女性登用、女性の登用状況の調査・公表、女性人材の発掘・育成に全庁的に取り組む。		

R3年度取組内容	取組内容	荒尾市上下水道事業運営審議会において、事務局として女性が活躍できるような委員会となるよう取り組みを行う。
	目標	現在設置されている審議会における審議委員の任期はR1.9～R3.8であり、今年度改選予定となっている。現状の女性登用率維持を目標に改選を行う。(上下水道事業運営審議会の女性登用率実績値：R2・・・33%) また、会議体での女性委員からの発言の機会が増えるような環境づくりに努める。

成果指標	指標名	単位	現状(H27)	実績値(H28)	実績値(H29)	実績値(H30)	実績値(R1)	実績値(R2)	実績値(R3)	目標値(R3)
		—	—	—	—	—	—	—	—	—

R3年度取組実績	実績(成果と分析)	今年度の9月に委員の改選があったが再任していただき、目標としていた女性委員の登用率33%を維持できた。また、上下水道事業に関する理解を頂き、女性の視点での意見を会議に取り入れられている。
	今後の課題	今後も継続して、女性の立場での意見も取り入れることができるように、審議会の場において発言の機会を確保するよう努める。
評価	A	評価の理由 女性委員の登用率の目標を達成でき、女性の活発な意見を頂いている。

【評価の視点】 ・男女共同参画の視点が施策に反映されているか ・男女共同参画の視点から施策の改善すべき点はないか
 A：目標を達成することができた
 B：目標達成には及ばなかったが、目標に沿った成果がみられた
 C：目標達成に及ばず、目標に沿った成果もみられなかった
 D：事業実施の実績なし

前年度(R2年度)からの課題	委員には、各団体からの推薦を受け、委員に就任頂いているが、委員の方に企業局と所属団体、さらには周囲の市民(女性委員には特に女性の方)の情報の受け渡しの役割を担って頂くような方策を検討していく必要がある。
----------------	---

男女共同参画推進会議の意見(男女共同参画推進室記入)	
男女共同参画審議会の意見(男女共同参画推進室記入)	

基本理念：女(ひと)と男(ひと)がともにいきいき輝くまち

重点目標	1	あらゆる分野における女性の活躍推進	担当課 関係各課(産業振興課)
施策の基本方向	1	政策・方針決定の場への女性の参画拡大	
具体的施策	1	各種審議会等委員への女性の登用拡大	
取組内容	政策・方針決定の場への女性の参画を拡大するため、各種審議会等において、委員改選時の積極的な女性登用、女性の登用状況の調査・公表、女性人材の発掘・育成に全庁的に取り組む。		

R3年度取組内容	取組内容	各種審議会等における女性委員登用を図るため、情報収集及び啓発活動を行う。
	目標	各種審議会等における女性委員登用を図るため、インターネットや参考資料等を活用し、市ホームページ・広報あらお等で啓発活動を行い登用の促進を促す。

成果指標	指標名	単位	現状(H27)	実績値(H28)	実績値(H29)	実績値(H30)	実績値(R1)	実績値(R2)	実績値(R3)	目標値(R3)
		—	—	—	—	—	—	—	—	—

R3年度取組実績	実績(成果と分析)	各種審議会等における積極的な女性委員登用を図ってもらうため、企業へのメール配信や広報での啓発活動を行い、女性登用の推進を促した。
	今後の課題	委員への女性登用の意識は高まってきたものの、現実的には女性の役職者が少ないためどうしても委員への就任が適わない。 女性の委員登用率を上げるためには、女性の役職者を増やすことが必要であると考えます。

評価	B	評価の理由	各種審議会等での女性登用について、積極的な登用を行ってもらうよう事業所へメールにより啓発を行ったため。
----	---	-------	---

【評価の視点】 ・男女共同参画の視点が施策に反映されているか ・男女共同参画の視点から施策の改善すべき点はないか
 A：目標を達成することができた
 B：目標達成には及ばなかったが、目標に沿った成果がみられた
 C：目標達成に及ばず、目標に沿った成果もみられなかった
 D：事業実施の実績なし

前年度(R2年度)からの課題	女性幹部登用の推進を図る。
----------------	---------------

男女共同参画推進会議の意見(男女共同参画推進室記入)	
男女共同参画審議会の意見(男女共同参画推進室記入)	

基本理念：女(ひと)と男(ひと)がともにいきいき輝くまち

重点目標	1	あらゆる分野における女性の活躍推進	担当課 総務課
施策の基本方向	1	政策・方針決定の場への女性の参画拡大	
具体的施策	2	女性職員の能力開発と管理職への登用の推進	
取組内容	登用に向けて、女性職員のモチベーションを高めるための研修や、管理職の業務の効率化等の環境整備に取り組み、性別に関わらない、能力と適正に応じた人事管理を推進する。		

R3年度取組内容	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・管理職(イクボス)研修を実施する。 ・女性職員シンクタンク会議内で研修を実施する。 ・令和2年度末に改定した「荒尾市人材育成基本方針」に基づき、女性職員の活躍促進を図るため、管理職候補となる係長級の職員等を対象として、熊本県市町村職員研修協議会等の外部機関が実施する研修を含め、階層別研修や専門研修を受講する機会を提供し、職員の能力開発を推進する。 ・各役職段階にある女性職員の割合など、現状を把握して人事管理を推進するとともに、特定事業主行動計画に基づいて公表する。
	目標	<ul style="list-style-type: none"> ・管理職のマネジメント力をアップし、業務の見直しにつなげ、性別にかかわらず能力を発揮できる職場環境をつくる。 ・女性職員シンクタンク会議では、女性職員をエンパワーする内容で研修を実施する。 ・研修受講や担当業務を通じて、職員の能力開発を着実に図ることで、管理職への登用の可能性を広げる。 ・働き方改革の動向も踏まえながら、時間外勤務の削減や職員間の業務の平準化などを含め、職員全体の業務の効率化を推進する職場環境の整備に取り組む。

成果指標	指標名	単位	現状(H27)	実績値(H28)	実績値(H29)	実績値(H30)	実績値(R1)	実績値(R2)	実績値(R3)	目標値(R3)
	市の管理職(課長以上職員)に占める女性の割合(市民病院を除く)	%	3.0 (H27.4.1)	2.9	5.9	6.1	8.3	8.3	8.8	15.0
	市の課長補佐・係長の職にある職員に占める女性の割合(市民病院を除く)	%	23.6 (H27.4.1)	27.4	27.0	29.3	26.6	26.6	25.6	35.0

R3年度取組実績	実績(成果と分析)	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスにより、イクボス研修が延期となったが10月から実施した。途中コロナにより、対面開催が困難となったが、オンラインに切り替えて実施した。 ・女性職員シンクタンク会議内で立命館大学准教授の講話を基に「現代社会と多様性～なぜ偏見や差別はうまれるのか?～」の学び合いを実施。アンコンシャスバイアスについて考える機会を作った。 ・新型コロナウイルス感染拡大の影響により、外部機関が実施する研修を含め階層別研修や専門研修を受講する機会をほとんど提供することができなかった。 ・業務の平準化については、当該年度開始直前に各所属長へ通知を行い、毎月の時間外勤務の状況を把握した。 	
	今後の課題	<p>コロナ禍での対応としてイクボス研修をオンライン(Zoom)で実施することができた。また、各課に1台オンライン対応のタブレットも配置されており、オンラインでの開催のハードルが下がった。ただ、連続5回の開催で実施した研修であったが通常業務との両立が難しく、すべての研修に出席できる職員は少なかった。時間外勤務の実績、夏季休暇や年次有給休暇の取得にも偏りがあることから、組織全体で、業務の質と量に応じた標準化に優先的に取り組む必要がある。</p>	
評価	B	評価の理由	目標は達成できていないものの、市の管理職の職にある女性の割合は上昇したため。

【評価の視点】 ・男女共同参画の視点が施策に反映されているか ・男女共同参画の視点から施策の改善すべき点はないか
A：目標を達成することができた B：目標達成には及ばなかったが、目標に沿った成果がみられた
C：目標達成に及ばず、目標に沿った成果もみられなかった D：事業実施の実績なし

前年度(R2年度)からの課題	<ul style="list-style-type: none"> ・職員それぞれにインターネット環境のない市役所の研修開催は、新型コロナウイルス感染症の流行に左右されること。 ・令和2年度末に改定した「人材育成基本方針」に基づき、職員研修の充実などにより、女性職員の活躍促進について具体的に取り組んでいく必要がある。
----------------	--

男女共同参画推進会議の意見(男女共同参画推進室記入)	
男女共同参画審議会の意見(男女共同参画推進室記入)	

基本理念：女(ひと)と男(ひと)がともにいきいき輝くまち

重点目標	1	あらゆる分野における女性の活躍推進	担当課 総務課
施策の基本方向	1	政策・方針決定の場への女性の参画拡大	
具体的施策	3	女性の登用についての啓発及び情報提供	
取組内容	地域団体や市民団体等各種団体、事業者等における方針決定過程への女性の参画を進めるための情報提供や啓発活動を行う。		

R3年度取組内容	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 政策・方針決定の場における女性登用率の現状を発信し、市民へ見える化を行う。 事業所向けに働き方改革及び女性活躍推進に関連した事業を行う。
	目標	<ul style="list-style-type: none"> 広報やHP等を利用し、政策・方針決定の場での女性登用率の現状を発信する。 女性ネットワーク荒尾を通じ、方針決定の場への女性の参画推進をお願いする。 事業所向けの働き方改革に関するセミナーを開催し、女性が活躍しやすい職場作りへの意識啓発を行う。

成果指標	指標名	単位	現状(H27)	実績値(H28)	実績値(H29)	実績値(H30)	実績値(R1)	実績値(R2)	実績値(R3)	目標値(R3)
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

R3年度取組実績	実績(成果と分析)	<ul style="list-style-type: none"> 第3次男女共同参画計画に係る令和2年度の実績状況をHP及び広報で発信した。 令和3年度の女性ネットワークを通して女性委員の推薦を行った。(延べ9人)
	今後の課題	事業所の管理職向けの働き方改革に関するセミナーについては、コロナ禍で市内の事業所や商工会議所と連携する機会が得られず開催できなかった。

評価	B	評価の理由	事業所向けセミナーは開催できなかったが、女性ネットワーク荒尾を通して女性委員の推薦ができた。
----	---	-------	--

【評価の視点】 ・男女共同参画の視点が施策に反映されているか ・男女共同参画の視点から施策の改善すべき点はないか
 A：目標を達成することができた B：目標達成には及ばなかったが、目標に沿った成果がみられた
 C：目標達成に及ばず、目標に沿った成果もみられなかった D：事業実施の実績なし

前年度(R2年度)からの課題	・コロナ禍であっても開催できるオンラインでの講座を視野に入れながら、持続的に開催できる方法を考える必要がある。
----------------	---

男女共同参画推進会議の意見 (男女共同参画推進室記入)	
男女共同参画審議会の意見 (男女共同参画推進室記入)	

基本理念：女(ひと)と男(ひと)がともにいきいき輝くまち

重点目標	1	あらゆる分野における女性の活躍推進	担当課 産業振興課
施策の基本方向	1	政策・方針決定の場への女性の参画拡大	
具体的施策	3	女性の登用についての啓発及び情報提供	
取組内容	地域団体や市民団体等各種団体、事業者等における方針決定過程への女性の参画を進めるための情報提供や啓発活動を行う。		

R3年度取組内容	取組内容	市内企業における女性幹部登用を促進するため、企業の参加するセミナーでの啓発活動及び市内企業訪問時に情報提供を行う。
	目標	啓発活動及び情報提供を1回以上行う。

成果指標	指標名	単位	現状(H27)	実績値(H28)	実績値(H29)	実績値(H30)	実績値(R1)	実績値(R2)	実績値(R3)	目標値(R3)
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

R3年度取組実績	実績(成果と分析)	昨年度同様、新型コロナウイルス感染症の影響により企業訪問数が減少し、直接の啓発活動ができなかった。国や県からの情報等については、メールやホームページにより啓発を行った。
	今後の課題	これまでメールや企業訪問等による啓発を行ってはいるが、今後企業の幹部の女性登用に、行政がどこまで関われるかという課題がある。

評価	B	評価の理由	企業訪問時に、女性登用について聞き取り等を行った。また、企業訪問時にメールやホームページによる啓発活動を行った。
----	---	-------	--

【評価の視点】 ・男女共同参画の視点が施策に反映されているか ・男女共同参画の視点から施策の改善すべき点はないか
 A：目標を達成することができた B：目標達成には及ばなかったが、目標に沿った成果がみられた
 C：目標達成に及ばず、目標に沿った成果もみられなかった D：事業実施の実績なし

前年度(R2年度)からの課題	企業の女性登用に対し、行政側の適正な距離感について課題と捉える。
----------------	----------------------------------

男女共同参画推進会議の意見(男女共同参画推進室記入)	
男女共同参画審議会の意見(男女共同参画推進室記入)	

基本理念：女(ひと)と男(ひと)がともにいきいき輝くまち

重点目標	1	あらゆる分野における女性の活躍推進	担当課 総務課
施策の基本方向	2	就業・雇用の分野における男女共同参画の推進	
具体的施策	4	各種関係法の雇用者・被雇用者双方への情報提供	
取組内容	男女雇用機会均等法、育児介護休業法、パート労働法等の労働関連法令等について、事業者、被雇用者双方への情報提供を行うとともに、育児・介護休業制度等の各種制度利用促進についての啓発を行う。		

R3年度取組内容	取組内容	育児や家族の介護を行う労働者が両立しやすい環境を整備し、育児・介護休業制度の利用を普及、促進するよう関係機関と連携し、事業者、被雇用者に啓発を行う。
	目標	<ul style="list-style-type: none"> 子育て支援ハンドブックの内容について、適宜情報の更新を行う。 各種特別休暇に併せて、年次有給休暇の取得についても案内を行う。 妻が出産予定の男性職員に育児休業取得の案内チラシを配布する。

成果指標	指標名	単位	現状(H27)	実績値(H28)	実績値(H29)	実績値(H30)	実績値(R1)	実績値(R2)	実績値(R3)	目標値(R3)
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

R3年度取組実績	実績(成果と分析)	<ul style="list-style-type: none"> 新たに子が出生する男性職員に対して、子育て支援ハンドブック、パパ入門ガイド(本)を活用し、個別に制度の周知を図った。 夏季休暇の取得に関する職員への通知に加え、年次有給休暇の積極的な取得についても案内した。
	今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> 育児休業等の制度改正が見込まれており、条例の改正など制度整備を行うとともに、子育て支援ハンドブックの内容を更新し、職員に周知する必要がある。

評価	A	評価の理由	目標に沿った取り組みを行い、昨年度の男性育休の取得者は目標を上回ることができた。
----	---	-------	--

【評価の視点】 ・男女共同参画の視点が施策に反映されているか ・男女共同参画の視点から施策の改善すべき点はないか
A：目標を達成することができた B：目標達成には及ばなかったが、目標に沿った成果がみられた
C：目標達成に及ばず、目標に沿った成果もみられなかった D：事業実施の実績なし

前年度(R2年度)からの課題	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度末に改定した「人材育成基本方針」に基づき、業務負担の平準化を図り、超過勤務の縮減、各種特別休暇や年次有給休暇の取得を促し、組織全体でワーク・ライフ・バランスを推進していくことが必要である。 男性公務員の育児休業の取得について、国家公務員では「原則1か月以上」として積極的に推進されており、国等の動向も踏まえながら、具体的な取組を検討していく必要がある。
----------------	--

男女共同参画推進会議の意見(男女共同参画推進室記入)	
男女共同参画審議会の意見(男女共同参画推進室記入)	

基本理念：女(ひと)と男(ひと)がともにいきいき輝くまち

重点目標	1	あらゆる分野における女性の活躍推進	担当課 産業振興課
施策の基本方向	2	就業・雇用の分野における男女共同参画の推進	
具体的施策	4	各種関係法の雇用者・被雇用者双方への情報提供	
取組内容	男女雇用機会均等法、育児介護休業法、パート労働法等の労働関連法令等について、事業者、被雇用者双方への情報提供を行うとともに、育児・介護休業制度等の各種制度利用促進についての啓発を行う。		

R3年度取組内容	取組内容	男女雇用機会均等法、育児介護休業法、パート労働法の労働関連法令等に係る周知情報や、セミナー等の情報を、荒尾市ホームページや広報あらおを積極的に活用し、情報提供及び啓発を図る。
	目標	提供を受けたりフレット等を、荒尾市ホームページ、広報あらおを利用し、国や県からの最新情報を随時発信し、啓発につなげる。

成果指標	指標名	単位	現状(H27)	実績値(H28)	実績値(H29)	実績値(H30)	実績値(R1)	実績値(R2)	実績値(R3)	目標値(R3)
		—	—	—	—	—	—	—	—	—

R3年度取組実績	実績(成果と分析)	昨年度同様、新型コロナウイルス感染症の影響により企業訪問数が減少し、直接の啓発活動ができなかった。国や県からの情報等については、メールやホームページにより啓発を行った。
	今後の課題	これまでメールや企業訪問等による啓発を行ってはいるが、今後企業の幹部の女性登用に、行政がどこまで関われるかという課題がある。

評価	B	評価の理由	企業訪問時に、女性登用について聞き取り等を行った。また、企業訪問時にメールやホームページによる啓発活動を行った。
----	---	-------	--

【評価の視点】 ・男女共同参画の視点が施策に反映されているか ・男女共同参画の視点から施策の改善すべき点はないか
 A：目標を達成することができた B：目標達成には及ばなかったが、目標に沿った成果がみられた
 C：目標達成に及ばず、目標に沿った成果もみられなかった D：事業実施の実績なし

前年度(R2年度)からの課題	引き続き、最新情報をホームページ上や広報紙に提供していく必要がある。
----------------	------------------------------------

男女共同参画推進会議の意見 (男女共同参画推進室記入)	
男女共同参画審議会の意見 (男女共同参画推進室記入)	

基本理念：女(ひと)と男(ひと)がともにいきいき輝くまち

重点目標	1	あらゆる分野における女性の活躍推進	担当課 市民病院
施策の基本方向	2	就業・雇用の分野における男女共同参画の推進	
具体的施策	4	各種関係法の雇用者・被雇用者双方への情報提供	
取組内容	男女雇用機会均等法、育児介護休業法、パート労働法等の労働関連法令等について、事業者、被雇用者双方への情報提供を行うとともに、育児・介護休業制度等の各種制度利用促進についての啓発を行う。		

R3年度取組内容	取組内容	男女が共に働きやすい環境を目指す。
	目標	<ul style="list-style-type: none"> ・育児休暇や子の看護休暇、配偶者出産休暇及び育児参加のための休暇利用率を向上させ、仕事と家庭の両立を支援する(男性職員による配偶者出産及び育児参加のための休暇の取得) ・育休者等へ院内保育所の利用を促す。 ・男女雇用機会均等法に関するポスターの掲示、性差に関する相談体制の充実を図る。

成果指標	指標名	単位	現状(H27)	実績値(H28)	実績値(H29)	実績値(H30)	実績値(R1)	実績値(R2)	実績値(R3)	目標値(R3)
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

R3年度取組実績	実績(成果と分析)	<p>【令和3年度実績】 男性の育児休業 1名 配偶者の出産育児参加休暇 3名 子の看護のための休暇(男性) 9名 介護休暇(男性1名・女性2名)</p> <p>今年度は男性の育児休業を1名取得できた。取得者の部署では以前男性職員が育休を取得していたこともあり、育児休業を取得しやすい雰囲気があったと思われる。所属長も対応が早く、取得させたい旨の連絡が早々にあったことで、取得者本人へ休業前から復帰後の説明ができ、本人からの相談にも対応できた。</p>
	今後の課題	<p>実績から、今後の課題としてまずは取得しやすい雰囲気づくりが必要であると感じた。自部署での相談や報告がしやすい『雰囲気づくり』のためには、相談体制の充実、休業中や安心して復帰できるよう、必要な情報の周知を図るなどして、職員のワークライフバランスを充実させたい。</p>

評価	B	評価の理由	育児休業取得者の増と配偶者出産育児参加休暇取得の周知ができたことから
----	---	-------	------------------------------------

【評価の視点】 ・男女共同参画の視点が施策に反映されているか ・男女共同参画の視点から施策の改善すべき点はないか
 A：目標を達成することができた B：目標達成には及ばなかったが、目標に沿った成果がみられた
 C：目標達成に及ばず、目標に沿った成果もみられなかった D：事業実施の実績なし

前年度(R2年度)からの課題	<p>チラシの配布や掲示(女性のための疾病予防・健康づくりセミナー、ハラスメント防止)を行い、ハラスメント等の相談窓口、職員ご意見箱を設置し、相談を受け付けることを継続的に行う。また、男性の介護や育児の参加を促すため各種制度等の案内を行う(休暇取得率の向上)</p>
----------------	---

男女共同参画推進会議の意見(男女共同参画推進室記入)	
男女共同参画審議会の意見(男女共同参画推進室記入)	

基本理念：女(ひと)と男(ひと)がともにいきいき輝くまち

重点目標	1	あらゆる分野における女性の活躍推進	担当課 産業振興課
施策の基本方向	2	就業・雇用の分野における男女共同参画の推進	
具体的施策	5	職業能力開発と能力発揮への支援	
取組内容	事業所における女性の職業能力開発や女性の処遇改善等につながる研修やセミナー等の情報を提供し、性別に捉われない、能力と適性に応じて働くことができる職場環境づくりを推進する。また、県の事業である男女共同参画推進事業者表彰に関して市内事業所へ情報提供を行うとともに、事業所の男女共同参画に関する取組等の情報を収集する。		

R3年度取組内容	取組内容	ポリテクセンター荒尾やハローワーク玉名等の就職や職業訓練に係る機関と連携し、セミナーや職業能力開発講座の周知を行い、能力開発と能力発揮に生かしてもらう。「熊本県男女共同参画推進事業者表彰」についても情報提供を行う。
	目標	職業能力の開発のための関連機関の情報提供とともに、男女共に働きやすい職場づくりを目指し、積極的に取り組めるよう最新のセミナーや取り組みの情報も発信していく。

成果指標	指標名	単位	現状(H27)	実績値(H28)	実績値(H29)	実績値(H30)	実績値(R1)	実績値(R2)	実績値(R3)	目標値(R3)
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

R3年度取組実績	実績(成果と分析)	ポリテクセンター荒尾の周知は、訓練生募集情報を広報掲載した。また、ハローワーク玉名等より提供を受けた情報についても、広報あらおやホームページを通じて発信することができた。
	今後の課題	ホームページや広報で、引き続き男女共同参画の意識醸成につながる情報の周知・発信に努める。

評価	A	評価の理由	ポリテクセンター荒尾等から受けた情報をホームページや広報にすみやかに掲載することができたため。
----	---	-------	---

【評価の視点】 ・男女共同参画の視点が施策に反映されているか ・男女共同参画の視点から施策の改善すべき点はないか
 A：目標を達成することができた B：目標達成には及ばなかったが、目標に沿った成果がみられた
 C：目標達成に及ばず、目標に沿った成果もみられなかった D：事業実施の実績なし

前年度(R2年度)からの課題	引き続き市ホームページや広報誌を通じて情報提供を行い、周知させることが課題。
----------------	--

男女共同参画推進会議の意見(男女共同参画推進室記入)	
男女共同参画審議会の意見(男女共同参画推進室記入)	

基本理念：女(ひと)と男(ひと)がともにいきいき輝くまち

重点目標	1	あらゆる分野における女性の活躍推進	担当課 総務課
施策の基本方向	2	就業・雇用の分野における男女共同参画の推進	
具体的施策	6	女性に対する就労支援	
取組内容	未就職者の就労や、出産・育児・介護等による離職者の再就職のための情報提供や講座等を実施し、就労、起業等の支援を行う。		

R3年度取組内容	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・女性就労支援講座を開催する。 ・就労支援講座の参加者に就労状況の追跡調査を行い、講座後の状況を確認していく。
	目標	<ul style="list-style-type: none"> ・就労を希望する女性のニーズに合った、実務的な就労支援となる講座を実施することで、就労を希望する人が就職できるための後押しをする。

成果指標	指標名	単位	現状(H27)	実績値(H28)	実績値(H29)	実績値(H30)	実績値(R1)	実績値(R2)	実績値(R3)	目標値(R3)
	女性就労支援セミナー受講者の就労率	%	—	16.7	8.3	11.1	30.0	60.0	20.0	20.0

R3年度取組実績	実績(成果と分析)	<p>新型コロナウイルス感染症の流行により、女性就労支援としてのパソコン講座を開催することができなかった。前年度に行った講座の追跡調査では、1人が就労したとの回答があった。</p>
	今後の課題	<p>パソコンのスキルアップへのニーズは高いものの、技術を学ぶ研修であるため対面での実施が必須であり、周知を考えると2か月前に開催の可否を判断す恵右新型コロナウイルス感染症が落ち着きを見せない中では開催ができなかった。次年度はコロナの状況を見ながら開催を考えていく。</p>

評価	B D	評価の理由	実施予定としていた講座が開催できなかったため
----	--------	-------	------------------------

【評価の視点】 ・男女共同参画の視点が施策に反映されているか ・男女共同参画の視点から施策の改善すべき点はないか
 A：目標を達成することができた B：目標達成には及ばなかったが、目標に沿った成果がみられた
 C：目標達成に及ばず、目標に沿った成果もみられなかった D：事業実施の実績なし

前年度(R2年度)からの課題	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で、パソコンのスキルはさらに必要性が増している。在宅でできる仕事も増えてきているため、女性就労のハードルも下がってきている。今後もパソコン講座については継続的に実施していく。
----------------	--

男女共同参画推進会議の意見(男女共同参画推進室記入)	事業は実施できなかったが、R3年度の調査によりR2年度参加者の就労率は目標を達成している。成果指標も評価に反映させるべきである。
男女共同参画審議会の意見(男女共同参画推進室記入)	

基本理念：女(ひと)と男(ひと)がともにいきいき輝くまち

重点目標	1	あらゆる分野における女性の活躍推進	担当課 産業振興課
施策の基本方向	2	就業・雇用の分野における男女共同参画の推進	
具体的施策	6	女性に対する就労支援	
取組内容	未就職者の就労や、出産・育児・介護等による離職者の再就職のための情報提供や講座等を実施し、就労、起業等の支援を行う。		

R3年度取組内容	取組内容	ポリテクセンター荒尾やハローワーク玉名等の関連機関と連携し、女性の就労支援に関する情報の周知・啓発を行う。また、荒尾市と商工会議所が荒尾市起業家支援センター「チャレンジプラザあらお」に入居している起業家や起業を希望する事業者に対し、積極的に支援を行っていく。
	目標	関連機関と連携して、女性の就労支援につなげる。さらに「チャレンジプラザあらお」への女性起業家の入居を促進するとともに、事業化に向けた支援を行う。

成果指標	指標名	単位	現状(H27)	実績値(H28)	実績値(H29)	実績値(H30)	実績値(R1)	実績値(R2)	実績値(R3)	目標値(R3)
		女性起業家数	人	8 (H28.3.31)	4	5	5	5	2	9 (計30)

R3年度取組実績	実績(成果と分析)	ポリテクセンター荒尾やハローワーク玉名等より提供を受けた情報について、広報あらおやホームページを通じて発信することができた。
	今後の課題	新型コロナウイルス感染症の影響により起業家が全体的に少ない印象であったが、コロナが長期化する中起業を考える人も全国的に増えている。今後は起業を考えている女性への支援情報等の発信や支援についても課題となる。
評価	B	評価の理由 広報あらおやホームページにより情報発信を積極的に行ったため。

【評価の視点】 ・男女共同参画の視点が施策に反映されているか ・男女共同参画の視点から施策の改善すべき点はないか
 A：目標を達成することができた
 B：目標達成には及ばなかったが、目標に沿った成果がみられた
 C：目標達成に及ばず、目標に沿った成果もみられなかった
 D：事業実施の実績なし

前年度(R2年度)からの課題	職業能力開発に関する情報を、より効果的に周知・啓発し、就労支援をはかる。
----------------	--------------------------------------

男女共同参画推進会議の意見 (男女共同参画推進室記入)	
男女共同参画審議会の意見 (男女共同参画推進室記入)	

基本理念：女(ひと)と男(ひと)がともにいきいき輝くまち

重点目標	1	あらゆる分野における女性の活躍推進	担当課 産業振興課
施策の基本方向	3	農林水産業における男女共同参画の推進	
具体的施策	7	農林水産分野における意思決定の場への女性の参画拡大	
取組内容	農業委員会や各種組合等の役員等への女性の参画、マジック釣り大会等各種農林水産関連イベント等の企画・運営等意思決定分野への女性の参画を推進する。		

R3年度取組内容	取組内容	「マジック釣り大会」や「梨の花ウォーク」などのイベントや、荒尾干潟を活用した事業などの企画・運営への女性の参画を推進する。
	目標	市主催のイベントや荒尾干潟を活用した事業の企画や運営において、漁協女性部や観光協会の女性職員などが積極的に参画できるようにする。

成果指標	指標名	単位	現状(H27)	実績値(H28)	実績値(H29)	実績値(H30)	実績値(R1)	実績値(R2)	実績値(R3)	目標値(R3)
		—	—	—	—	—	—	—	—	—

R3年度取組実績	実績(成果と分析)	「あらお梨の花元気ウォーク」の開催にあたっては、実行委員会及び実施委員会を組織し、多様な団体の参画の下、内容の検討等を行っている。引き続き実行委員会においては、荒尾市食生活改善推進員から、実施委員会においては荒尾市観光協会及び荒尾商工会議所から、女性の委員に参画いただいており、女性の視点を取り入れた企画が実施できていると考える。
	今後の課題	委員構成が役職による宛て職となっているため、関係団体における女性の登用率に影響される状況である。合意形成及び意思決定をする会議体であるため、宛て職とせざるを得ない側面もあることが課題である。
評価	B	評価の理由 様々な事業で女性の視点を踏まえた意見を集約する機会を作ることができているため。

【評価の視点】 ・男女共同参画の視点が施策に反映されているか ・男女共同参画の視点から施策の改善すべき点はないか
 A：目標を達成することができた
 B：目標達成には及ばなかったが、目標に沿った成果がみられた
 C：目標達成に及ばず、目標に沿った成果もみられなかった
 D：事業実施の実績なし

前年度(R2年度)からの課題	各事業の企画や運営に参加しやすい環境づくりに取り組み、参画の拡大を図ること。
----------------	--

男女共同参画推進会議の意見 (男女共同参画推進室記入)	
男女共同参画審議会の意見 (男女共同参画推進室記入)	

基本理念：女(ひと)と男(ひと)がともにいきいき輝くまち

重点目標	1	あらゆる分野における女性の活躍推進	担当課 農林水産課
施策の基本方向	3	農林水産業における男女共同参画の推進	
具体的施策	7	農林水産分野における意思決定の場への女性の参画拡大	
取組内容	農業委員会や各種組合等の役員等への女性の参画、マジック釣り大会等各種農林水産関連イベント等の企画・運営等意思決定分野への女性の参画を推進する。		

R3年度取組内容	取組内容	農業委員会の新体制への移行を機に、農業委員会への積極的な女性の登用を推進する。農林水産関連イベント等の企画・運営への女性の参加を働きかけるとともに、女性目線を意識した企画立案を行う(女性の意見に拾い上げ反映させる)。※今年度の「マジック釣り大会」については、新型コロナウイルス感染拡大防止として中止の方向で調整中。
	目標	農林水産関連イベント等について、女性が参画・参加しやすい環境づくりに努める。

成果指標	指標名	単位	現状(H27)	実績値(H28)	実績値(H29)	実績値(H30)	実績値(R1)	実績値(R2)	実績値(R3)	目標値(R3)
		農業委員会委員に占める女性の割合	%	0 (H28.3.31)	0.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0

R3年度取組実績	実績(成果と分析)	農業委員会委員については、令和2年5月に改選が行われ、2名の女性農業委員が選出された。農林水産関連イベント等が新型コロナウイルス感染拡大により実施できなかったこと、女性の活躍の場の創出ができなかった。
	今後の課題	農業委員会委員については、令和5年7月に改選が行われる予定で、女性農業委員が増えるよう委員会活動についても周知していきたい。しかしながら、農業委員自体の担い手不足もあるため、男女問わず周知活動を行う必要がある。また、新生活様式を取り入れながら、今後も農林水産関連イベントの中で、より多くの女性の活躍の場の創出を図っていく必要がある。

評価	B	評価の理由	少しずつであるが、幅広い視点での事業設計・検討がされたため。
----	---	-------	--------------------------------

【評価の視点】 ・男女共同参画の視点が施策に反映されているか ・男女共同参画の視点から施策の改善すべき点はないか
 A：目標を達成することができた B：目標達成には及ばなかったが、目標に沿った成果がみられた
 C：目標達成に及ばず、目標に沿った成果もみられなかった D：事業実施の実績なし

前年度(R2年度)からの課題	荒尾市役所女性シンクタンクから意見をいただいた内容を基に、事業化・商品化の可能性について検討を行う。農業委員については、男性も含めて担い手が不足しており、女性の割合の増加も厳しいため、今後も担い手不足を解消するためにも周知・啓発に努める。
----------------	---

男女共同参画推進会議の意見 (男女共同参画推進室記入)	
男女共同参画審議会の意見 (男女共同参画推進室記入)	

基本理念：女(ひと)と男(ひと)がともにいきいき輝くまち

重点目標	1	あらゆる分野における女性の活躍推進	担当課 農林水産課
施策の基本方向	3	農林水産業における男女共同参画の推進	
具体的施策	8	農林水産分野における固定的性別役割分担意識の解消	
取組内容	女性の経営能力や農林水産技術の向上のための講演、イベント等の情報提供や参加の促進を行い、農林水産分野における固定的性別役割分担意識に基づく慣習の解消を推進し、男女共同参画の意識啓発を図る。		

R3年度取組内容	取組内容	JA女性部との共催で、経営管理能力・農業技術向上のための講習会の開催を通じての支援。また、JA女性部による料理講習会・農産物加工品評会、家庭菜園コンクール等の開催を通じ、固定的な役割分担意識の是正及び役割、能力の適正な評価を行う。認定農業者間の情報共有・意見交換を活発化させ、女性認定農業者の発掘・育成につなげる。
	目標	女性の経営管理能力や生涯技術向上のための支援拡大を図る。また、固定的な役割意識の是正と女性の役割及び能力の適正な評価の推進を図る。

成果指標	指標名	単位	現状(H27)	実績値(H28)	実績値(H29)	実績値(H30)	実績値(R1)	実績値(R2)	実績値(R3)	目標値(R3)
		女性認定農業者数	人	52 (H28.3.31)	54	54	54	54	50	37

R3年度取組実績	実績(成果と分析)	昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大の影響が多く、JA女性部との共催による講習会や研修会の実施ができなかったため、大々的な周知はできなかったが、個別に農業者と面談する機会に事業制度の周知を図ることができた。昨年度と比較して実績値が落ちた要因として、認定農業者の更新(5年毎)のタイミングで事業主のみ更新され、配偶者である女性農業者の更新をされなかったことが考えられる。
	今後の課題	農業の魅力発信を継続して行い、女性農業者を増やし、将来、認定農業者となり得る人材の育成を行うことが必要である。また、認定農業者更新時に、主たる農業者だけでなく、配偶者の女性農業者についても同時に更新されるよう、今後も制度の周知を行う必要がある。
評価	B	評価の理由 新型コロナウイルス感染症拡大の影響の中でも、認定農業者制度の周知を図る等、できることは進めたため。

【評価の視点】 ・男女共同参画の視点が施策に反映されているか ・男女共同参画の視点から施策の改善すべき点はないか
A：目標を達成することができた
B：目標達成には及ばなかったが、目標に沿った成果がみられた
C：目標達成に及ばず、目標に沿った成果もみられなかった
D：事業実施の実績なし

前年度(R2年度)からの課題	新生活様式の中で人材育成の方法を検討し、女性農業者の潜在人数の増を目指して、今後も引き続き女性に対して農業の魅力発信に努める。
----------------	---

男女共同参画推進会議の意見 (男女共同参画推進室記入)	
男女共同参画審議会の意見 (男女共同参画推進室記入)	

基本理念：女(ひと)と男(ひと)がともにいきいき輝くまち

重点目標	1	あらゆる分野における女性の活躍推進	担当課 農林水産課
施策の基本方向	3	農林水産業における男女共同参画の推進	
具体的施策	9	農林水産分野における就労環境改善の推進	
取組内容	農林水産分野における女性の能力発揮を推進するため、家族経営協定締結の促進、畜産ヘルパー制度の利用促進を図り、仕事と生活の両立が可能な就労環境づくりを支援する。		

R3年度取組内容	取組内容	認定農業者に係る新規認定・更新のタイミングで家族経営協定の制度を紹介し、家族経営協定の推進を図る。畜産農家が定期的休日や連続休暇が取れるよう、畜産ヘルパー制度の利用・普及を推進する。
	目標	家族経営協定を結んでいる農家数の、令和3年度目標を20戸とする。畜産ヘルパー制度の活用促進を支援する。

成果指標	指標名	単位	現状(H27)	実績値(H28)	実績値(H29)	実績値(H30)	実績値(R1)	実績値(R2)	実績値(R3)	目標値(R3)
	家族経営協定締結農家数	戸	15 (H28.3.31)	15	16	17	28	28	27	20
	畜産ヘルパー制度利用率	%	23.5 (H28.3.31)	24.7	24.7	24.7	17.1	20.0	14.4	25.0

R3年度取組実績	実績(成果と分析)	認定農業者に係る新規認定・更新のタイミングで家族経営協定の制度紹介を行ったが、家族経営協定の締結にはつながらなかった。 畜産ヘルパー制度利用率について、昨年度と比較して落ち込んだものの、畜産農家への周知は進んでいる。利用率が落ち込んだ要因として、経験を要する畜産ヘルパーの減少があり、需要と供給のバランスが取れていないことがあげられる。
	今後の課題	家族経営協定を行うメリットを整理して、今後も継続して認定農業者に情報発信していく必要がある。 また、畜産ヘルパー制度の活用促進については、需要と供給のアンバランスの解消を図るため、酪農の魅力を発信し、畜産ヘルパーの人材育成を図っていく必要がある。
評価	B	評価の理由 家族経営協定締結農家数は目標以上の成果が出たが、畜産ヘルパー制度利用率は目標を達成できなかった。しかし、新型コロナウイルス感染症拡大の影響の中でも、事業周知を図る等できることを実施したため、一定の成果があったと考える。

【評価の視点】 ・男女共同参画の視点が施策に反映されているか ・男女共同参画の視点から施策の改善すべき点はないか
A：目標を達成することができた B：目標達成には及ばなかったが、目標に沿った成果がみられた
C：目標達成に及ばず、目標に沿った成果もみられなかった D：事業実施の実績なし

前年度(R2年度)からの課題	家族協定を行うメリットを整理して、認定農業者に発信していく。 また、昨年度に引き続き希望者が申請しやすい環境作りに努める。
----------------	--

男女共同参画推進会議の意見 (男女共同参画推進室記入)	
男女共同参画審議会の意見 (男女共同参画推進室記入)	

基本理念：女(ひと)と男(ひと)がともにいきいき輝くまち

重点目標	1	あらゆる分野における女性の活躍推進	担当課 総務課
施策の基本方向	4	活力あるまちづくりへの共同参画	
具体的施策	10	各種地域団体の活動促進	
取組内容	市民の自発的な活動の活性化や各種団体の自立及び連携を支援し、団体活動を促進するとともに、社会の各分野や地域においてリーダーとなる人材を発掘、育成し、地域活動の活性化を図る。		

R3年度取組内容	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・熊本県男女共同参画社会づくり地域リーダー育成研修参加者の公募を行う。 ・女性ネットワーク荒尾代表者会及び女性人材バンク登録者へ男女共同参画推進室主催の講座を案内する。 ・男女共同参画フォーラムを市民参加型の実行委員会形式で開催する。
	目標	<ul style="list-style-type: none"> ・熊本県男女共同参画社会づくり地域リーダー育成研修参加者との情報共有を行い、行政と参加者との連携を図り研修後の活動を支援することで、地域の男女共同参画推進につなげる。 ・女性ネットワーク荒尾の登録団体間の交流・連携を図り、女性委員推薦のための土台づくりにつなげる。 ・フォーラム実行委員である市内各種団体間の連携を図り、それぞれの団体の得意分野等を活かしたフォーラム内容の企画・運営を行い、幅広い市民に男女共同参画について考えるきっかけを作る。 ・女性人材バンク登録者へ男女共同参画関連講座を案内し、行政との連携を図ると共に、登録者のスキルアップを図る。

成果指標	指標名	単位	現状(H27)	実績値(H28)	実績値(H29)	実績値(H30)	実績値(R1)	実績値(R2)	実績値(R3)	目標値(R3)
		—	—	—	—	—	—	—	—	—

R3年度取組実績	実績(成果と分析)	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の拡大で実行委員会の開催が困難なため、男女共同参画フォーラムの開催は中止となったが、メッセージの募集のみは実施し広報に掲載した。コロナ禍であったが、啓発活動を継続することができた。参加者を減らし表彰式を実施予定としていたが、コロナ禍で急遽中止となった。 ・熊本県男女共同参画社会づくり地域リーダー育成研修に市民2人、市職員1人を推薦した。市民1人は修了、1人は急遽キャンセル、市職員は業務との両立が困難となり、最後まで修了することができなかった。
	今後の課題	熊本県地域リーダー育成研修への申し込みは毎年度ない状況で、こちらから依頼をし推薦をしている。そのような中で、途中で急にキャンセルする参加者も出たことで、今後の人選の方法も考えていく必要がある。
評価	B	評価の理由 フォーラムの開催はできなかったが、メッセージ募集を継続し、啓発の機会は作った。リーダー研修は2人修了できなかったが、1人は次回の参加にも意欲的であるため。

【評価の視点】 ・男女共同参画の視点が施策に反映されているか ・男女共同参画の視点から施策の改善すべき点はないか
 A：目標を達成することができた B：目標達成には及ばなかったが、目標に沿った成果がみられた
 C：目標達成に及ばず、目標に沿った成果もみられなかった D：事業実施の実績なし

前年度(R2年度)からの課題	<ul style="list-style-type: none"> ・オンラインでの講座の開催は、自宅から参加できることで参加者のハードルが低くなる一方、まだ使い慣れていない市民も多く、参加への抵抗となる方もいるように感じている。しかしながら、自宅で育児や介護をしながらでも参加できるオンライン講座は多様な市民の参加を促すものとなると思うので、今後も継続的に実施していく必要がある。
----------------	---

男女共同参画推進会議の意見(男女共同参画推進室記入)	
男女共同参画審議会の意見(男女共同参画推進室記入)	

基本理念：女(ひと)と男(ひと)がともにいきいき輝くまち

重点目標	1	あらゆる分野における女性の活躍推進	担当課 くらしいきいき課
施策の基本方向	4	活力あるまちづくりへの共同参画	
具体的施策	10	各種地域団体の活動促進	
取組内容	市民の自発的な活動の活性化や各種団体の自立及び連携を支援し、団体活動を促進するとともに、社会の各分野や地域においてリーダーとなる人材を発掘、育成し、地域活動の活性化を図る。		

R3年度取組内容	取組内容	市民や各団体の自立及び連携を支援するため、「市民自らが行う事業」、「市民と行政が協働で行う事業」を対象に支援を行い、市民や各団体の地域における活躍の場を増やし、地域活動の活性化を図る。
	目標	いきいき人づくり事業や市民活動サポート事業などの各種補助金を効果的に活用できるよう、各種事業への支援を行い、女性の活躍できる活動においては人材育成、地位向上等を図る。

成果指標	指標名	単位	現状(H27)	実績値(H28)	実績値(H29)	実績値(H30)	実績値(R1)	実績値(R2)	実績値(R3)	目標値(R3)
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

R3年度取組実績	実績(成果と分析)	<p>○いきいき人づくり事業 4件の申請に対し4件の助成を行い、市民団体の人材育成を推進した。</p> <p>○市民活動サポート事業 1件の申請に対し1件の助成を行い、市民活動の支援を行った。</p> <p>コロナ禍ではあるが、各団体とも工夫を凝らした取り組みが実施された。</p>
	今後の課題	工夫して市民活動を実施する必要がある状況が続いている。市民活動が停滞することが無いよう、柔軟な支援が求められている。
評価	A	評価の理由 出来る限りの支援を行うことができ、今後も継続して支援する必要がある。

【評価の視点】 ・男女共同参画の視点が施策に反映されているか ・男女共同参画の視点から施策の改善すべき点はないか
A：目標を達成することができた B：目標達成には及ばなかったが、目標に沿った成果がみられた
C：目標達成に及ばず、目標に沿った成果もみられなかった D：事業実施の実績なし

前年度(R2年度)からの課題	新型コロナウイルス感染症の拡大により、一部の市民活動については従来通りの実施が困難と見込まれるが、各団体の状況等を考慮しながら支援を行う必要がある。また、補助金等の支援制度を積極的に活用してもらうため、広報・ホームページ等による周知や、補助等が該当すると見込まれる団体への確に情報提供をする必要がある。
----------------	---

男女共同参画推進会議の意見(男女共同参画推進室記入)	
男女共同参画審議会の意見(男女共同参画推進室記入)	

基本理念：女(ひと)と男(ひと)がともにいきいき輝くまち

重点目標	1	あらゆる分野における女性の活躍推進	担当課 総務課
施策の基本方向	4	活力あるまちづくりへの共同参画	
具体的施策	11	地域社会・地域活動への男女共同参画の推進	
取組内容	観光や環境、雇用等、さまざまな分野を含めた地域おこしやまちづくりに関する政策・方針決定の場への女性の参画の拡大を図る。また、男性の積極的な地域社会への参画を啓発し、男女が共に地域社会・地域活動に参画できる環境づくりを推進する。		

R3年度取組内容	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・女性人材バンク登録者及び熊本県男女共同参画社会づくり地域リーダー研修生へ随時男女共同参画関連講座等の情報を提供する。 ・働く女性の家(エポック・荒尾)を、女性の福祉の増進だけでなく、男女共同参画発信の場としても時代にあった事業内容を計画していく。 ・熊本県男女共同参画社会づくり地域リーダー研修生と連携し、地域社会での男女共同参画推進を図る。
	目標	<ul style="list-style-type: none"> ・女性人材バンク登録者及び熊本県男女共同参画社会づくり地域リーダー研修生へ学びの場を提供することで、継続したスキルアップを図る。 ・女性ネットワーク荒尾、女性人材バンクの活用を庁内に呼びかけ、市政に関する政策・方針決定の場での女性の活躍を推進する。 ・働く女性の家での事業等を通じ、女性のエンパワメント、男性の家庭参画等を推進し、男女共同参画のまちづくりを目指す。

成果指標	指標名	単位	現状(H27)	実績値(H28)	実績値(H29)	実績値(H30)	実績値(R1)	実績値(R2)	実績値(R3)	目標値(R3)
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

R3年度取組実績	実績(成果と分析)	<ul style="list-style-type: none"> ・働く女性を対象とした「キャリアデザインセミナー」、働く女性の家の事業として「ハーブティー講座」を実施した。キャリアデザインセミナーに関しては、女性人材バンク登録者及び熊本県男女共同参画社会づくり地域リーダー研修生へ周知を行ったが参加はなかった。
	今後の課題	働く女性の家ではこれまでオンラインでの開催実績がない。今後は持続可能な推進事業を実施していく必要があるため、オンラインでの開催を協議していく。
評価	C	評価の理由 市の主催事業に地域リーダー研修生や人材バンク登録者からの参加はなく、継続的な学びの場としては機能しなかった。働く女性の家の事業としても、コロナ禍でも実施できる事業を計画していく必要がある。

【評価の視点】 ・男女共同参画の視点が施策に反映されているか ・男女共同参画の視点から施策の改善すべき点はないか
 A：目標を達成することができた B：目標達成には及ばなかったが、目標に沿った成果がみられた
 C：目標達成に及ばず、目標に沿った成果もみられなかった D：事業実施の実績なし

前年度(R2年度)からの課題	<ul style="list-style-type: none"> ・時代の流れを考慮し、働く女性の家は今後男女共同参画を推進していく中心の館として、その視点に沿った事業の企画をしていく必要がある。
----------------	---

男女共同参画推進会議の意見 (男女共同参画推進室記入)	
男女共同参画審議会の意見 (男女共同参画推進室記入)	

基本理念：女(ひと)と男(ひと)がともにいきいき輝くまち

資料(3)-3

重点目標	1	あらゆる分野における女性の活躍推進	担当課 環境保全課
施策の基本方向	4	活力あるまちづくりへの共同参画	
具体的施策	11	地域社会・地域活動への男女共同参画の推進	
取組内容	観光や環境、雇用等、さまざまな分野を含めた地域おこしやまちづくりに関する政策・方針決定の場への女性の参画の拡大を図る。また、男性の積極的な地域社会への参画を啓発し、男女が共に地域社会・地域活動に参画できる環境づくりを推進する。		

R3年度取組内容	取組内容	ごみ減量の取り組みであるダンボールコンポストの普及を推進する。
	目標	ダンボールコンポスト講習会への男性参加者の増加を図る。 参加者のうち男性の占める割合の目標:30%

成果指標	指標名	単位	現状(H27)	実績値(H28)	実績値(H29)	実績値(H30)	実績値(R1)	実績値(R2)	実績値(R3)	目標値(R3)
		—	—	—	—	—	—	—	—	—

R3年度取組実績	実績(成果と分析)	<p>ダンボールコンポスト講習会を令和3年度中に4回開催。 ※新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けたが、前年より回数を1回増やした。 【参加者数:28人 うち男性6人、女性22人】 参加者に占める男性の割合 21%</p> <p>男性の参加者数は1回目1人、2回目1人、3回目2人、4回目2人の計6人であった。今年の男性参加率は昨年より多少改善したものの、目標を下回る結果となった。昨年からの課題であった土日の開催を実践できなかったことも男性参加率低下の要因と考えられる。</p>
----------	-----------	---

R3年度取組実績	今後の課題	<p>男性の参加率は昨年度に引き続き低い状況であるため、男性が取り組むきっかけとなるよう、ダンボールコンポストで作られる堆肥がガーデニングや家庭菜園で使用できること等を継続して呼び掛けるとともに、平日に仕事をしている人が参加しやすいよう土日に講習会を開催すること、また、各地域での講習会実施を検討し事前に男性参加者への呼びかけを行うことで参加率の向上を図る。</p>
----------	-------	---

評価	C	評価の理由	参加者のうち男性の割合は昨年度と比較して4%向上したものの、目標には及ばなかったため。
----	---	-------	---

【評価の視点】 ・男女共同参画の視点が施策に反映されているか ・男女共同参画の視点から施策の改善すべき点はないか
A：目標を達成することができた B：目標達成には及ばなかったが、目標に沿った成果がみられた
C：目標達成に及ばず、目標に沿った成果もみられなかった D：事業実施の実績なし

前年度(R2年度)からの課題	<p>男性の参加率が低い状況であるため、男性が取り組むきっかけとなるよう、ダンボールコンポストで作られる堆肥がガーデニングや家庭菜園で使用できること等を継続して呼び掛けるとともに、平日に仕事をしている人が参加しやすいよう土日に講習会を開催することを検討する。</p>
----------------	---

男女共同参画推進会議の意見 (男女共同参画推進室記入)	
男女共同参画審議会の意見 (男女共同参画推進室記入)	

基本理念：女(ひと)と男(ひと)がともにいきいき輝くまち

重点目標	1	あらゆる分野における女性の活躍推進	担当課 くらしいきいき課
施策の基本方向	4	活力あるまちづくりへの共同参画	
具体的施策	11	地域社会・地域活動への男女共同参画の推進	
取組内容	観光や環境、雇用等、さまざまな分野を含めた地域おこしやまちづくりに関する政策・方針決定の場への女性の参画の拡大を図る。また、男性の積極的な地域社会への参画を啓発し、男女が共に地域社会・地域活動に参画できる環境づくりを推進する。		

R3年度取組内容	取組内容	地区協議会や地域元気づくり委員会など地域づくり活動への参加を通じて、男女共同の意識付けを促進する。
	目標	地区協議会や地域元気づくり委員会が行う地域づくり活動について、男女問わず参画を促す。 なお、新型コロナウイルス感染拡大防止のため各地域行事が中止・延期となっているため、今後の状況を注視しながら、地域行事等の再開等を支援する。また、地域づくり推進委員委員会委員の委嘱の交代なので女性の社会進出の促進や人材育成、地位向上等を図る。

成果指標	指標名	単位	現状(H27)	実績値(H28)	実績値(H29)	実績値(H30)	実績値(R1)	実績値(R2)	実績値(R3)	目標値(R3)
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

R3年度取組実績	実績(成果と分析)	今年度も新型コロナウイルスの影響で各地区行事の中止・延期が相次いだが、本課や地区担当職員で随時支援等を行った。地域づくり推進委員は、約4割の女性の委員の委嘱を行い、各地区協議会の活動やコロナ後の地域活動等について意見をいただいた。
	今後の課題	市民団体においては、女性が代表を務め、自発的な活動を行っている組織もあることから、引き続き活動支援や団体間の連携促進等を図っていききたい。若い世代は特に仕事や子育て等で時間がなく、参加が難しくなっていることから、地域活動や方針の検討の場に参加することの負担感を軽減していくことも必要。
評価	B	評価の理由 現在、地区の役員(会長・副会長・部会長など)ほとんど男性で占めているが、地域活動については、親子で参加しやすい行事を各地区取り組まれていることから、女性の参加率も徐々にではあるが増えている。

【評価の視点】 ・男女共同参画の視点が施策に反映されているか ・男女共同参画の視点から施策の改善すべき点はないか
 A：目標を達成することができた B：目標達成には及ばなかったが、目標に沿った成果がみられた
 C：目標達成に及ばず、目標に沿った成果もみられなかった D：事業実施の実績なし

前年度(R2年度)からの課題	令和2年度、男女共同の地域づくり活動への具体的な施策についてまでは至らなかった。
----------------	--

男女共同参画推進会議の意見 (男女共同参画推進室記入)	
男女共同参画審議会の意見 (男女共同参画推進室記入)	

基本理念：女(ひと)と男(ひと)がともにいきいき輝くまち

重点目標	1	あらゆる分野における女性の活躍推進	担当課 産業振興課
施策の基本方向	4	活力あるまちづくりへの共同参画	
具体的施策	11	地域社会・地域活動への男女共同参画の推進	
取組内容	観光や環境、雇用等、さまざまな分野を含めた地域おこしやまちづくりに関する政策・方針決定の場への女性の参画の拡大を図る。また、男性の積極的な地域社会への参画を啓発し、男女が共に地域社会・地域活動に参画できる環境づくりを推進する。		

R3年度取組内容	取組内容	本市における観光戦略の策定及び進捗管理をはじめ、観光地域づくりの推進に向けた協議等を行うために設置している荒尾市観光振興計画策定等委員会において、委員更新の際、女性の推薦を依頼するとともに、女性委員を公募するなど、女性の参画拡大を図る。
	目標	会議の運営方法を工夫し、女性委員が発言しやすい状況をつくる。

成果指標	指標名	単位	現状(H27)	実績値(H28)	実績値(H29)	実績値(H30)	実績値(R1)	実績値(R2)	実績値(R3)	目標値(R3)
		—	—	—	—	—	—	—	—	—

R3年度取組実績	実績(成果と分析)	「あらお梨の花元気ウオーク」の開催にあたっては、実行委員会及び実施委員会を組織し、多様な団体の参画の下、内容の検討等を行っている。引き続き実行委員会においては、荒尾市食生活改善推進員から、実施委員会においては荒尾市観光協会及び荒尾商工会議所から、女性の委員に参画いただいております。女性の視点を取り入れた企画が実施できていると考える。
	今後の課題	委員構成が役職による宛て職となっているため、関係団体における女性の登用率に影響される状況である。合意形成及び意思決定をする会議体であるため、宛て職とせざるを得ない側面もあることが課題である。
評価	B	評価の理由 様々な事業で女性の視点を踏まえた意見を集約する機会を作ることができているため。

【評価の視点】 ・男女共同参画の視点が施策に反映されているか ・男女共同参画の視点から施策の改善すべき点はないか
 A：目標を達成することができた
 B：目標達成には及ばなかったが、目標に沿った成果がみられた
 C：目標達成に及ばず、目標に沿った成果もみられなかった
 D：事業実施の実績なし

前年度(R2年度)からの課題	事業の企画・運営に女性が参加しやすいように配慮した参画事業に取り組むこと。
----------------	---------------------------------------

男女共同参画推進会議の意見 (男女共同参画推進室記入)	
男女共同参画審議会の意見 (男女共同参画推進室記入)	

基本理念：女(ひと)と男(ひと)がともにいきいき輝くまち

重点目標	1	あらゆる分野における女性の活躍推進	担当課 農林水産課
施策の基本方向	4	活力あるまちづくりへの共同参画	
具体的施策	11	地域社会・地域活動への男女共同参画の推進	
取組内容	観光や環境、雇用等、さまざまな分野を含めた地域おこしやまちづくりに関する政策・方針決定の場への女性の参画の拡大を図る。また、男性の積極的な地域社会への参画を啓発し、男女が共に地域社会・地域活動に参画できる環境づくりを推進する。		

R3年度取組内容	取組内容	農林水産課所管の審議会等での活躍の場を支援し、女性がまちづくりの政策・方針決定の場に参加できるように啓発を行う。
	目標	農林水産課所管の審議会等で女性が発言し易い環境をつくり、まちづくりの推進、女性の参画へ繋げる。

成果指標	指標名	単位	現状(H27)	実績値(H28)	実績値(H29)	実績値(H30)	実績値(R1)	実績値(R2)	実績値(R3)	目標値(R3)
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

R3年度取組実績	実績(成果と分析)	農林水産課所管の審議会等の多くが書面開催であったため、女性の活躍の場を十分に確保することができなかった。
	今後の課題	新生活様式を意識した女性の活躍の場の確保が必要である。

評価	D	評価の理由	新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、所管する多くの審議会等が書面開催により行われたため、女性の活躍の場の創出が難しかった。
----	---	-------	--

【評価の視点】 ・男女共同参画の視点が施策に反映されているか ・男女共同参画の視点から施策の改善すべき点はないか
 A：目標を達成することができた B：目標達成には及ばなかったが、目標に沿った成果がみられた
 C：目標達成に及ばず、目標に沿った成果もみられなかった D：事業実施の実績なし

前年度(R2年度)からの課題	日頃からキーパーソンとなる人材発掘・育成に努めるとともに、その人材に対して、スキルやノウハウが活かせる市事業とのマッチングを推進する。 新生活様式の中で、女性の活躍の場を創出すること。
----------------	---

男女共同参画推進会議の意見 (男女共同参画推進室記入)	
男女共同参画審議会の意見 (男女共同参画推進室記入)	